



OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

平成 28 年 5 月 1 日
発行責任者：岩村義昭
編集責任者：三浦隆雄
国臨協 OB 会事務局
千葉県市川市東国分 2-1-26
TEL：047-372-0713



会員各位

会長 岩村義昭

今年の桜は花もちがよく長く楽しめました。若葉の爽やかな季節となりましたが、会員の皆様にはお変わりなく、元気でお過ごしのことと拝察いたします。

今回も OB 文化祭（作品展）を行いますので出席して下さるようお願いいたします。

東日本大震災発生から 5 年が経ちました。報道によれば、復興の道は中々遠いようです。

（作品展の問い合わせは岩村 047-372-0713 まで）
なお、前年より行っている長寿祝いの該当者は今回は以下の通りになります。

被災地の力となるには、現地へ足を運んでもらうこと、東北の産品を購入する事など、何より震災を忘れないこと、気持ちを寄せ祈り続けることのようにです。

| |
|---|
| 90 歳以上のお祝い：昭和元年（大正 15 年）以前にお生まれの方 |
| 85 歳のお祝い：昭和 6 年 1 月 1 日～12 月 31 日の間にお生まれの方 |
| 80 歳のお祝い：昭和 11 年 1 月 1 日～12 月 31 日の間にお生まれの方 |

これから伊勢志摩サミットあり、夏にはリオのオリンピックありと、多くのイベントで盛り上がる時です。メダルの数だけではなく、どんな感動が生まれるか楽しみです。

※ 該当する方は返信のはがきに生年月日をお書きくださるようお願いいたします。

昨年 6 月に小原会長より引継ぎ、目新しいことは出来ませんが、ご指導・ご支援をよろしく願いいたします。今回、遅れておりました会員名簿ができましたのでお届けします。会員相互の親睦を深めるため大いに役立てて頂きたいと思ひます。

記

さて、今年も総会の時期になりました。下記の通り開催いたします。ご多忙の中万障お繰り合わせのうえ、ご出席をお願いいたします。出欠にかかわらず近況をお書きください。

日時：平成 28 年 6 月 4 日（土） 12:30 開始
場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

JR 市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分

千代田区九段北 4-2-25 ☎03-3261-9921

会費：10,000 円

（年会費 3,000 円、懇親会費 7,000 円）

出欠ハガキ締切日：5 月 20 日まで

新聞の投書欄に掲載されて

元国立療養所栗生楽泉園：大野 清

新聞は政治・経済、国際社会、地域、文化、くらし、スポーツ、投書など、日常生活に欠かすことが出来ない情報が、活字を通して入手できる。日本新聞協会による調査結果によると、新聞を読んでいる人は77.7%（読売新聞3月16日付）。世の中、ネット社会になり各種情報が手軽に入手でき、特に若者は新聞離れが進んで、購読してまで読むことが減っているという。

各新聞の投書欄は誰でも気楽に投稿でき、私は読売新聞の「気流」に投稿している。新聞に掲載されたのは今までに数回になる。内容はほとんどが介護の仕事を通してで、2月の投書は勤務先で、男性が101歳、女性が106歳で、2人は利用者の中で男女それぞれ最高齢で、合わせて207歳の誕生会の祝いをした。人生の大先輩に「まだまだ頑張れ」と言われているようで、勇気や希望がわいてくる、と書いた記事が掲載された。ちなみに2月の投書数は3,752通（読売新聞調）で、かなりの倍率である。

新聞に掲載されるには幾つかのポイントがあり、①表題を解りやすく、②簡潔・明瞭にまとめる、③時節に合うタイムリーな内容、④字数を守る、などを考慮することが大切なことと思う。

掲載される前に読売新聞本社から電話があり、住所、氏名、年齢、職業、電話番号の確認と、未発表で類似作を含め、他の新聞に二重投稿していないか。掲載された場合は、他のメディアにも載ることもあるのでと了解を得ていた。そして、一応候補になったことの連絡があった。それから数日してから、記事が朝刊に載り全国の購読者に届けられた。勤務先、元国立の先輩や同僚、同級生、

近所の方などから読んだことや、感想など頂いた。

また、知らない方から、介護の仕事は大変ですが、頑張ってくださいと激励の手紙も届いた。自分が書いた記事を日本中の人々が眼を通し、何かを感じて頂けたら大変嬉しく、何事にも変え難いと思う。

後日、気流係から「一通の投書が世の中を動かし、感動を呼ぶことも多々あります。日頃の生活の中で感じた喜び、怒り、悲しみ、さらに政治、経済、社会への提言などつづり、今後とも奮ってご投稿下さい」と礼状が届いた。

日頃、新聞から得られる様々な情報は日常生活を豊かにする。記事を読み、理解する能力や、文章を書く力を養うことは、認知症予防の一つになり、脳トレにもなる。これからも健康寿命を延ばすためにも、新聞の投書欄に投稿していきたいと思っている。

2016年(平成28年)2月20日(土曜日) 言 置

品表示法が施行され、それまで任意だったカロリーやたんぱく質など栄養成分の表示も義務づけられました。情報が充実するのはありがた

い

会社員 本間 由美 51 (川崎市) 先日、夫と京都へ旅行した。寺などの観光地は多くの外国人でにぎわって

「207歳 誕生会の励まし」

介護職員 大野 清 68 (埼玉県川越市)

勤務先のデイサービスセンターで毎月何回かに分けて、利用者の誕生会を開いている。先日は101歳の男性と106歳の女性を祝った。2人は利用者の中で男女それぞれの最高齢で、合わせて207歳の誕生日祝いとなった。

カラオケで歌ってお祝いするのが恒例になっている。利用者の中から数人が懐メロや歌謡曲を披露すると、会場から大きな拍手が起こった。2人に花束を贈呈し、利用者と職員が「ハッピーバースデー」を合唱してお開きとなった。その男性に長生きの秘訣を尋ねると、「特にない」。自然体で生きるとのことだろうか。

人生の大先輩の姿を見ると、「まだまだ頑張れ」と言ってくれているように感じられ、勇気や希望がわいてくる。

いることも分かりますが、大きな字で表示してあると高齢者も読みやすく、安心して買物ができると思います。何とか工夫できないものではないでしょうか。

雪

題字・角元正雄
イラスト・熊沢厚子

恵方巻き廃棄心痛む

アポロ計画成功の裏話 I

藤川淳策

宇宙旅行協会

1999年6月24日の読売新聞に次のような記事が記載されていた。「二十世紀を代表するロケット科学者を一人選ぶとすればフォン・ブラウンしかいない。まさにミスターロケットと呼ぶべき人物だった。・・・米国を宇宙大国に育て上げた立役者だった」と。

ウェルナー・フォン・ブラウン博士は、1912年ドイツ東部の貴族の家で生まれた。ベルリンの名門学校に入学したが、その詰め込み教育が性格に合わず中学の時に田舎の学校に転校。しかし人間何が幸運をもたらすかわからない。この学校には数学を教えるのが上手な先生がいて、彼の才能が開花したのである。こんなところは、希望の大学に入らなかった天才物理学者アインシュタインと共通するところがあるといえよう。

1927年、ドイツに世界で最初の宇宙旅行協会が設立された。人類の夢である宇宙旅行を実現させるのを目的に設立されたのである。フォン・ブラウンはベルリン工科大学の時代にこの協会に入り、協会の顧問をしていたヘルマン・オーベルト博士の下で宇宙ロケットの研究をはじめた。



尊敬と賞賛をこめて日本のみなさんへ

ウェルナー・フォン・ブラウン

1971・4・4

NHK講演集より

史上初の弾道ミサイルの開発

この当時、ドイツはベルサイユ条約の厳しい監視のもと航空機や戦車、軍艦などの研究開発が制限されていたが、ロケットの研究開発は自由であった。

こんなロケットに目を付けたのがドイツ軍部である。1937年に、今はポーランド領となっているペーネミュンデにロケット実験場を開設し、フォン・ブラウンを中心として科学者や技術者を集め本格的な実験、開発を始めた。軍事目的での研究である。独裁

強権的な政権下では個人の自由な発想や夢は育てられないのであろう。民用の技術が軍用に転換された典型的な例だ。

1942年に弾道ミサイルV2の発射実験は成功した。全長14メートル、最大直径1.65メートル、エンジンの推力25トンで1トンの弾頭を積み275キロの射程を有する。燃料はエチルアルコールと液体酸素。原油不足に悩むドイツであり、ケロシン（灯油）の代わりにエチルアルコールが使用されたのであろう。

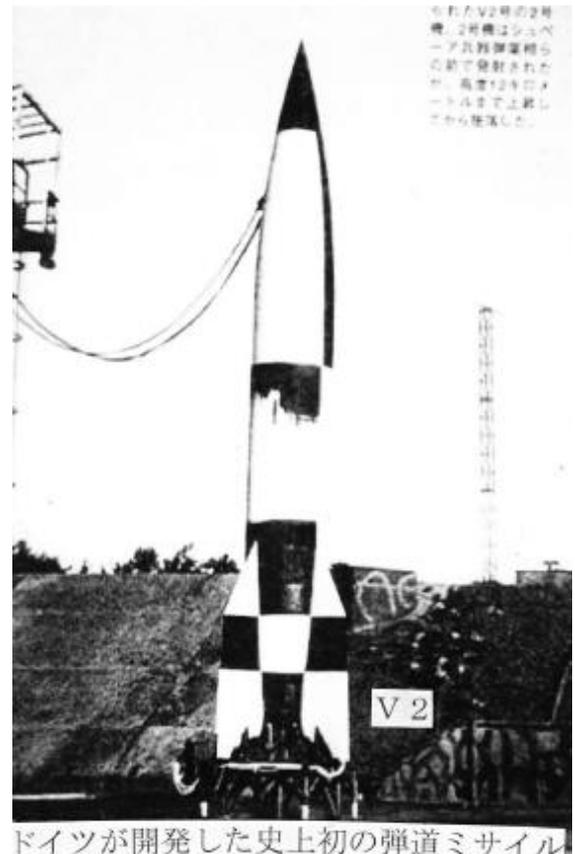
現代の宇宙ロケットや大陸間弾道弾と全く同一の本格的な慣性誘導の機能を有し、あらかじめ設定された目標地点に自動的に到達する。搭載されたジャイロスコープにより慣性力を積分し速度を算出、速度を時間と積分して距離を算出する。ジャイロスコープにより飛行方角を知る事もできる。発射地点はわかっているのでロケットは自身の現在地点を知る事ができる。また、数千度にもなる燃焼室を冷却するシステムや、推進剤を燃焼室に送るためのターボポンプなど現在のロケットそのものといえよう。V2は垂直に打ち上げられ徐々に飛行角度を下げ、45度の角度で加速、飛行し目標に向かう。これは物体を遠くに飛ばすのに45度が最適だからである。

1943年の夏、イギリス情報部の女性職員は大変重要な発見をした。それは多くの男性職員が見落としていたもので、偵察機が地上を映した1枚の写真だ。蟻より小さいもので、拡大鏡で見なければわからなかった。V2が写されていたのである。

1943年8月17日、18日、連合国は600機の大型爆撃機でペーネミュンデを猛爆撃した。1500トンの高性能爆弾が投下されたという。爆撃に参加した47機が撃墜された。これは第二次大戦でも重要な作戦の一つとされている。のちに連合軍総司令官アイゼンハワー将軍はこう述べている「もし、このV2が半年早く実戦に投入されていたら大変なことになっていた」。

独から米国、ソ連への技術移転

1945年5月にドイツが降伏すると、米軍は8月にV2を100機分アメリカに移送した。12月にはフォン・ブラウン以下130人のロケット科学者を捕虜として連行した。投降した飢えに苦しむドイツ人科学者たちが一番驚いたのはアメリカ軍の食事の豪華さだった。一方、アメリカ軍は投降したドイツの科学者の中で“驚異の新兵器”を開



ドイツが開発した史上初の弾道ミサイル



移動中のV2ミサイル

発した中心人物が快活な若者だったのに驚いたのである。

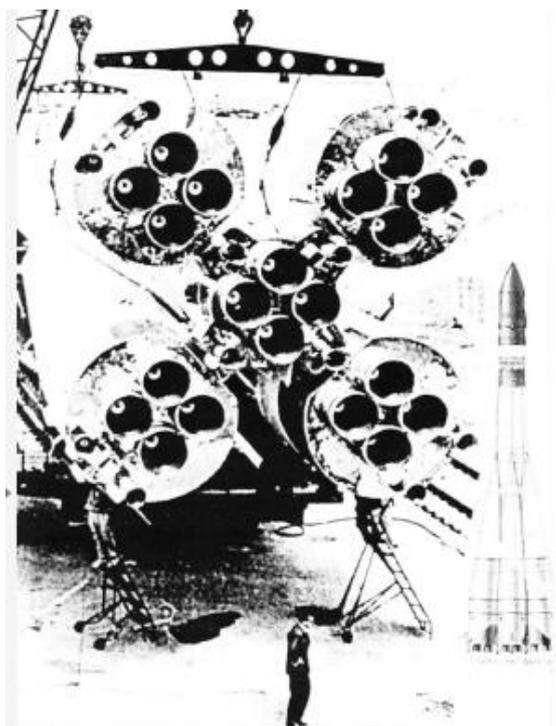
ソ連はペーネミュンデをいち早く占領し、多くの研究施設と数千人といわれる科学者や技術者を連行した。このことが初期段階での宇宙開発競争でソ連が米国をリードできた原因の一つとされている。

アメリカ、ソ連ともに自国に移送したV2をドイツ人科学者立ち合いのもと、解体組み立て、発射実験などを行った。アメリカでのこの作業に加わったなかに現在の中国ロケットの父といわれている銭学林博士もいた。銭学林博士がアメリカを出国するに際しては、これを阻止せんとするアメリカ諜報部員との間に映画007顔負けの活劇があったとされている。

1957年11月3日、ソ連が人類最初の人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功。世界中、特にアメリカ国民を驚かせた。実はアメリカもソ連より早く人工衛星を打ち上げるチャンスはあったといわれている。ソ連がスプートニクを打ち上げるよりずっと以前に、フォン・ブラウンは議会で人工衛星打ち上げの予算承認のための講演をおこなった。しかし、彼の考えも予算も議会で承認されることはなかった。当時のアメリカ議会では①まだ反独感情が強く、元ドイツ人のいうことに耳をかさなかった。②人工物体が地球をぐるぐる回る事が理解できなかった、のである。ソ連の人工衛星打ち上げの成功で目が覚めたといえようか。

ハリウッド映画史上屈指の名作といわれる「風と共に去りぬ」の主演男優である、クラーク・ゲイブルは両親がドイツ移民であった。ブラウンの髪とグリーンの瞳を持つこの長身（188cm）の男優はオランダ系と公表されていた。こんな時代だったのである。

1957年12月、アメリカはバンガード1号の打ち上げに失敗。もう元ドイツ人などと言ってられない。ここでフォン・ブラウン達に“白羽の矢”がたった。1958年1月31日、ドイツ人チームは急ごしらえのロケットでアメリカ最初の人工衛星エクスプローラの打ち上げに成功。その実力を示したのである。これ以降、アメリカの宇宙開発はフォン・ブラウンを中心とする元ドイツ人チームが担ってゆく。



ソ連のヴォストーク型ロケットのエンジン

米国とソ連の宇宙開発競争

その後の宇宙開発競争では常にソ連が米国をリードしたことは周知の事実である。1961年のユーリ・ガガーリンの人間宇宙飛行。1963年のテレシコワが世界初の女性宇宙飛行に成功などなど。

このころのソ連のロケットはボストーク型で独特のすそ野の広がった形をしている。一段目はすそ野の4本のロケットでおのおの4基のエンジンが搭載され、2段目は真ん中の4基のエンジンの部分である。発射時は一段目と2段目が同時に点火されて、合計20基ものエンジンが火を噴く。エンジン1基の推力は25トンで、合計500トンの推力を得る。1段目の4本のロケットエンジンは途中切り離され、真ん中の2段目はさらに噴射を続け上昇し3段目に引き継がれる。このエンジン1基の推力は25トンでV2と同じ。

この時代、宇宙空間でアメリカとソ連の人工衛星がすれ違う時にドイツ語でゲーテン・モルゲン（おはよう）と挨拶したそうだ。

種々雑感

小原 千秋

1. 虹の出現は不吉な予感？

2～3年前に、北海道へ旅行した時大きな思い出に残ることがある。千歳空港からレンタカーで稚内までの行程。途中で休憩しつつ目的地までたどり着いた。

道中は曇り空であった。その時突然大きな虹が、前方の上空に現れた。今まで見たことのないものすごく大きなくっきりした虹である。びっくり動転し、突然ブレーキを踏んだ。

何だあれは！虹にしては不気味な色合いだ。

もしかしたら地震でも起きるのでは？不吉な予感が脳裏をよぎった。



虹と言えば遠い昔から道ならぬ恋の表徴と言われ、不吉なものとして遠ざけられていたようだ。

例えば、人々の悲しい思いが昇天して虹になるとか、悲しみが美しく天を飾る。このようなことも詩に書いてあった。どこかの県では“虹予報”の発信をはじめたという。虹の出現を警戒してではなく、虹と出会うためである。大昔の人が聞いたらきっと驚くことだろう。子供のころは虹の両端を掘れば宝物がどっさり出てくると聞かされていた。これからは、虹を見たら夢と希望の方に気持ちを持っていきたい。幸いに旅行中は何事も起こらず無事に帰京できた。

2. シニア人材 地域で輝く

シニアの働く意欲は高い。2013年度の意識調査で、60歳以上の男女に「何歳まで仕事を続けたいですか」との問いに、「働けるうちはいつまでも」が30%、「70歳ぐらい」24%、「65歳ぐらい」の21%を上回っ

た。少子化で若い働き手が減少する中、シニア人材の活用は国でも大事。

年齢を重ねても、仕事や地域活動を通じて他人や社会とのつながりによって、張り合いを感じられれば、より豊かな人生を送れる。どんな人でも人生のデザインは欠かせない。楽しく自分らしく生きるために、働く喜びを実感したい。

3. 甘党と辛党

最近、やけに甘い物が欲しくなってきた。朝食は食パンを半分、アンパンを半分、食間にも大福を食べることが多く、ジュースは飲むし甘い物は格別に好きだ。その反面、晩酌も毎日だ。

酒も菓子も好む甘辛の両党遣いを俗に「雨風」というそうだ。孫と一緒に大福を口に運ぶお爺さんもきっといるはず。「精神の疲労は酒を求め、肉体の疲労は甘味を求める」と語ったのは作家の〇〇さん。いずれにしても酒もお菓子もほどほどにし健康を保っていきたいと思う今日この頃。

4. 孫と爺の援助交際??

何年前のOB会懇親会で、山下幸作氏が、カラオケで”孫”という曲を歌った。♪何でこんなに可愛いのかよ 孫と言う名の宝物・・・♪の歌い出しである。

孫が出来て、だんだん物心がついた頃になると可愛さ100倍、老後生活より孫との触れ合い、そして贈り物。

ネットのアンケートによると、孫のいる男女（55～75才）では、「孫へのプレゼントや祝い事など」が74%と最多。「孫との外食費用」が60%、

「孫との旅行やレジャー費用」が29%、その他に学費や塾・習い事の援助が7%で、何もしてないが17%。孫とのコミュニケーション

ヨンはいかに？

自分たちの暮らし向きは決して楽とはいえませんが、孫に対しては、可愛さや楽しみそして生きがいという面で、ついつい心がゆるむ。年を重ねると、ワクワクドキドキする機会がなく、なぜか孫にかける期待が大きい。今日も学校帰りに「おばあちゃんお腹すいたよ、何か甘いものないか」と言って立ち寄る孫の姿に接し心ワクワクになってしまう。

♪じいちゃんあんたにそっくりだよと 皆に言われその気になって・♪孫を持つ爺婆さん達は。孫に対してどんな対応をしていますか？



岩村会長 青梅マラソンを走る

早春の青梅路を駆けめぐる、第50回記念青梅マラソンが去る3月21日に東京都青梅市で参加者17000人という大人数で開催された。

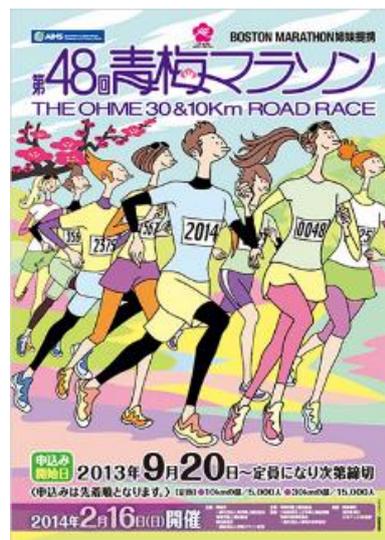
この大会は毎年1回開催され人気と伝統を誇っており、また、著名アスリートと一緒にレースに参加できる大規模な大会として有名になった。間寛平がロードランナーとしての第一歩を踏み出したのは、この大会だと言われている。また、アメリカのシカゴとの姉妹マラソンでも世界的に名高い大会になっている。

岩村氏は、高校の時代は基より、国立病院在職中そして、退職後も近隣のマラソンクラブに所属し朝夕に走って汗を流している。また、マラソン出場歴も多く、この青梅マラソンも過去に数回出場しているとのこと。

今回は、10Kmにエントリー。

青梅マラソンのコースは起伏が激しく走りづらいとも聞いているので結構大変できつかったことでしょう。

とにかく無事に完走。70才を超えても挑戦するその気力はすばらしいです。私にも新しい一歩を踏み出す大きな力をもらったような気持ちになりました。完走おめでとう、そして、お疲れ様でした。(小原千秋)



思いっくままに

並木信治

さて何を書けば良いのか迷いましたが、まずは近況等を報告します。こんな時に文筆家であれば流石と、お褒めの言葉等を頂けるのではないかと思います。文才が無く苦勞をしています。

私の近況は、主にボランティア活動として社協（社会福祉協議会の所属）関係が3団体（その内、一団体は他市の社協から依頼されている「障がい者のための写真教室」が4年目）、民生・児童委員（以下民児協）が5年目、その他、交通安全活動推進委員が7年目に入ります。民児協と交通安全活動推進委員の身分は非常勤の特別職の地方公務員にあたり選挙活動が禁止されています。民児協の定員定数は人口10万人以上の市等は170世帯から360世帯に対し民生委員1名と決められており新座市では212名の定数で運営されています。自治体によっては、委員の成り手がなく苦勞をしているようです。また交通安全活動推進委員は市町村の人口で定数が決められており当警察署管内は14名が定数となっております。

簡単に夫々の内容を説明しますと、民児協では市民（特に一人ぐらしの高齢者、高齢者世帯、障がい者、要援護者や児童）の見守りで、役所と市民との架け橋的な役割と考えてください。定例会と役員会が月一、小中学校の入学・卒業式等の行事に出席、小中学校の先生方との懇談会（地域と先生との関わりの一環としての情報交換）、また年に一回、管轄地域での高齢者実態調査（私の場合は約440世帯）が5・6月中に行われます・・・これが結構大変で、色々な家庭が有り怒鳴られた事も有ります。調査結果は6月中に役所に文書で提出いたします。

交通安全活動推進委員の活動内容は、月一

の定例会、歩道・道路上での啓蒙・啓発活動や「母と子の会」と協賛して小学校等で自転車の交通マナーの講義と実技、年に一度の埼玉県内での方面別研修会、県外研修等があります。

趣味では写真・カメラですが、昨年11月に全国200ヶ所以上で行われた文部科学省後援フォトマスター検定（写真検定）にチャレンジしました。資格は3級から2級、準一級、一級に分かれております。東京目白会場で1級をトライして何とか合格しました。（一昨年は準一級）女性も結構受験しており写真関係の学校、大手カメラ店の店員さんも参加していました。このため、過去問を重点的に進め9月より毎日2時間位？猛勉強、ノート2冊を使い切りました。

最近読んだ本から、「痛快！知的生活のすすめ 著者：渡部昇一、和田秀樹」に65歳からでも暗記はできる！！記憶力は年をとると落ちることはない！と言う事が書かれていました。心理学の考え方では、記憶力には入力と貯蔵と出力の三段階があるとされています。一般に貯蔵の段階では、入力したのに対し復習を何回するかが大切であり、出力の段階というのは貯蔵したものをもとに講義をしたり、ものを書くトレーニングが必要とされます。日本人には、もともとその出力の訓練が欠落している人が多いと言われています。この三つの段階で年をとると一番衰えていくとされる部分は、記銘といわれる入力の段階だとされています。しかし、理解力というのは、ふつう年をとればとるほど増していくものです。なかには年をとっても増やせないという気の毒な人もいますが、本来は年をとればとるほど理解力は増し、それにつれて記憶力も増すことは不思議なことではありません。年をとれば記銘力が落ちるのは定説のようにされていますが、本来ものというのは、その人の理解力です。年をとっても理解力さえついていれば、記憶力が上がる可能性はむしろ大きいのです。入力時に重

要なのは、基本的には理解とアテンション（緊張・緊迫状態）です。そこで、一般的にはアテンションを高めるに集中力（cocentration コンセントレーション）を磨くこと、それとともに必要なのは、関心を持つということです。ワインに強い関心が有ればワインの名前やヴィンテージはすぐに覚えられます。お坊さんなども、若い頃最初はお経の内容などわからないで読んでいたのが、解るようになって行くと幅がぜんぜん違って来るそうです。ですから年をとるにつれて覚えられなくなると言うのは、ある意味で言い訳に過ぎないように思えます。ただし、勉強を続けるということが前提になりますから、それが先ずなさなければなりません。※理解に関係ない暗記力は、むしろ落ちている様な気がします。特に人の名前などは直ぐに出てこなくなりました。

「井戸はたえず汲んでいないと涸れてしまう」そしてその井戸も、本当は二つか三つあった方が良いのです。井戸を使い過ぎても、水は涸れてしまいます。脳の容量は思っている以上に大きく、私たちが実際使っているのは、その内の一割程とされています。脳の容量を10とすると、一しか使っていないわけですから、年をとって三つくらい脳の容量を失ったところで、じつは一向に差し支えないのです。ですから「老化現象だ」などと言うのは、すべて気力の老化なのです。

本のキャッチフレーズの受け売りで・・・申し訳有りません。

この本から、少しばかり勇気が湧いたような気がいたします。



あなたなら、どうする？

佐藤乙一

中央線立川駅。東京行の電車が静かに滑り出した。20年か、いや30年前ごろならば、最後部に居る車掌さんのピリピリーの笛声でドアが閉まり（いや今もあるそうだ）電車は動き出す。やがて“国立”から“西国分寺”。3人掛けの指定席はいい。寄りかかりやすいから。

ここでどうみても70才ほどの老人が乗ってきた。3人掛けに乗っていた60才代と思われる初老のお客さんが立った。「どうぞ」70爺さん「余分な世話をするナ」とばかり「イラン」（不要の意味か）瞬間にこの座席周囲に冷たい雰囲気。誰も座る人はいない。吉祥寺→西荻窪へと電車は進む。そこへランドセルを背負った小学生。トントんと走ってきてドカッと座った。一巻の終わり。さて、あなたならどうする？

刃物の刃

皆さんは“切れ者”つまり刃物で苦労したことはないだろうか？男の人なら1回や2回はあろう。奥様から「ナイフが切れなくなった」「この包丁は切れないから捨てよう」などということが。他の刃物も同じ。ところが時折来る商売人の「研ぎ屋さん」この人に頼めば、捨てようといった刃物が、骨まで切れるようになるから不思議だ。中国製の100円ショップのハサミでも買って来た時はザクザクと切れるが、そのあとはすぐダメになる。

理髪屋さんの話「切れ味は砥ぐときの角度で決まる」と。これはもう忘れるほど前に聞いて勉強した話。何もかもコツがあり、技術者というものはこのコツで生きているというわけだ。

自分には甘い、ことなかれ主義

今日もバスは混んでいる。そこへ老婆が4輪車を押しながら乗り込んできた。後ろの乗車口から前の方へ行く。通路へ止められたら後からの人が乗れなくなる。みんな思うだろう。私もそう思った。「タタめばいいのに！」だが誰も言わない。「わざわざになることはいやだ、降りるまでの我慢」というわけだろう。ところが自分が大きい荷物を持ち込んでくるときはどうだろう。「悪いナ」と思う人。「お客だから当然だ、違法行為とは書いてない」と開き直る人もいるだろう。ベビーカーにしてもそうだ。引いている親1人、乗せている子1人。つまり1人分の乗車代で2人分乗っているというわけだ。中にはカーをたたみ赤ちゃんを抱えている人もいる。誰もがそれはいいというだろうが、今はそれを言う人もいない。平和の世の中というわけか。



2人乗って 1人分。バス代

これ、本当の話だ。立川駅前からバスに乗った。それは私。その後に定年後を思わせる老夫婦も乗って来た。数停留所を経るや、まずは奥様が先に降りた。そして主人らしい人。ところがシルバーパスは後の主人らしい人のみ。つまり奥さんの分はない。バス代は払わない。運転士さんは言った。「奥様のバス代未払いだ」「俺と同じだ」「パスは?」「無いけれど条件は俺と同じだ」客は夫婦ともスイスイと行ってしまった。運転士さんが叫べど答えなし。運転士さんやる術なし。これ後進国は逆戻りか。以後この停留所で同じこと無し古人は言うじゃない「柳の下にドジョウは2度はいないよ」と。ズウズウシイのにも「ほど」がある。文明の恥!

その昔「政治犯」にされた本当の話

今でいえば国立の某医療センターの技師長に該当する人。この人は東北出身。昔の中学校卒。同級生が警視庁の巡查で、巡查部長になることを目標にしていた。

某技師長はよく組合活動をしており、私も呼び出され「賃金上げよ」「ボーナスを増やせ」など厚生省へ大動員の1人として誘われたものだった。ところがこの技師長に該当する者が、私の組合参加活動全部を、この警察官に内報していたというわけ。一口で言えば私を誘って組合運動をさせ、旧中学同級生の警官に通報。この警官は保安係官といって組合運動つまり某党の情報入手係で、この警察官の業績にさせるために、私を誘い政治犯にして手柄を残そうとしたわけ。なんとあさましい人物であったろう。

例の警察官は私服で、厚生省で団体交渉している写真をもって来て、立川病院の事務官に見せ「この中に佐藤さんが居るか」と問うたというのだ。それも回を重ねて。他の警察官は自宅の近所にも聞き込みに来た、というのはずっと後になってから聞いた話。相手がそうなら、私にも警察官の諸事情を知る手づるがあり、大体のことがわかった。

こんなのが、今の制度でいえば技師長にあたる人に居たわけ。一緒に働いている人が気の毒だと思う。今は故人だが病院内では手のつかぬ チャラン・ポランの技師で困っていたが生存していないので、あとは触れないことにしよう。これ自分史の一頁になるだろう。

健康食品使用上の注意

OB ともなれば多かれ少なかれ、何かの健康商品を飲んでいるだろう。これを2種3種と使用するときは、内容をよく見よう。例えば食事のとき食塩量を減らしても、健康食品にナトリウムが入っていれば、食塩と同じこと。胃散には重層が入っている。これもナトリウム。

ナトリウムが必要以上に入れば、これを体外に排泄する手段として水を飲む。水を飲むから血管がふくれる。ふくれるから、その分血圧が上がるのだ。こうした学問を臨床検査医学総論といい病態論と略す。私は今こんなことを学校で教えているんデス。

ねらわれた 我が老人

平成27年10月中旬のことだった。昼前の閑時に私は南武線登戸駅で小田急線に乗り換えるべく、改札前に立っていた。背こそ曲がってはいないが、若き青春時代は戦前のことゆえ、こんなことは無いに等しかったからだろう。今はピンと直立していた。そこへ40歳前後と思われるおやじさんがすり寄って来た。彼は言う「おい！元気じゃあないか、俺は金子だよ。今向こうで家族が待っているんだ。今は時計屋に勤めているんだけど、今日は家族を連れて旅行に行く途中だ、懐かしいあなたを見たので腕時計をやるよ」と言ってその時計を見せるんじゃなくて、本人が腕にしている時計を見せた。その時計を見る限りこれはどうも本物（ラドーか？）らしかった。彼は自分のものは見せたが、「やるよ」と言って私のポケットに無造作に突込んだ時計は見せなかった。ここが注意どころ。たしか国立病に勤務しているとき金子さんという人はいた。だがその人はもう80数歳の筈。こんなに若くない。私はその人の顔をのぞき込んだ。どう見てもあの金子さんとは人間像が違う。そこで聞いた「あなたは医事係の何担当だったの？」彼は一瞬困ったらしい顔。ここまで書いたら賢明な皆さんのこと、もうおわかりでしょう。これ以上からかったら危険。ナイフでも持っていて「この野郎」と言ってズバリとやられたら大変だから、今私の持っている時計を見せた。

「オー〇〇〇〇だね」

この犯人見破られて危険と思ったのだろう
「もう時間です、家族の方へ行きます」と彼は人混みの中へそそくさと消えていった。

説明は変わって、我が家には嫁いだ娘が近くに居て、食事を作りに来てくれている。その娘にこの話をしたら、娘曰く「父はよくしゃべるけれど、どこか抜けてるんだよね。悪いことを商売にしている犯人には、すぐわかるんじゃないの！」と。

ああ・・・あ 94歳ともなれば そんなものだろう。魂の抜けた ロボット人間か

春夏秋冬

今書いているのは平成27年の中秋。日光あたりからチラホラと新雪の便りがやってくる。やがて連山は枯れ木の山と化し、零下10度とも言われる、厳冬の白衣へと様変わりの来襲だ。といってもこの粗文が皆さんの目に止まるのは、来年の夏号か？それでいいんだ。その間には冬冠雪、そしてホーホケキョ。ああ暑いと言っていれば、もう新年おめでとう。ということになる。そうなれば私は何歳になるか。そうだ年令の話は禁句った筈。国臨協関甲信会員の健康を祈るや切。呵呵



